

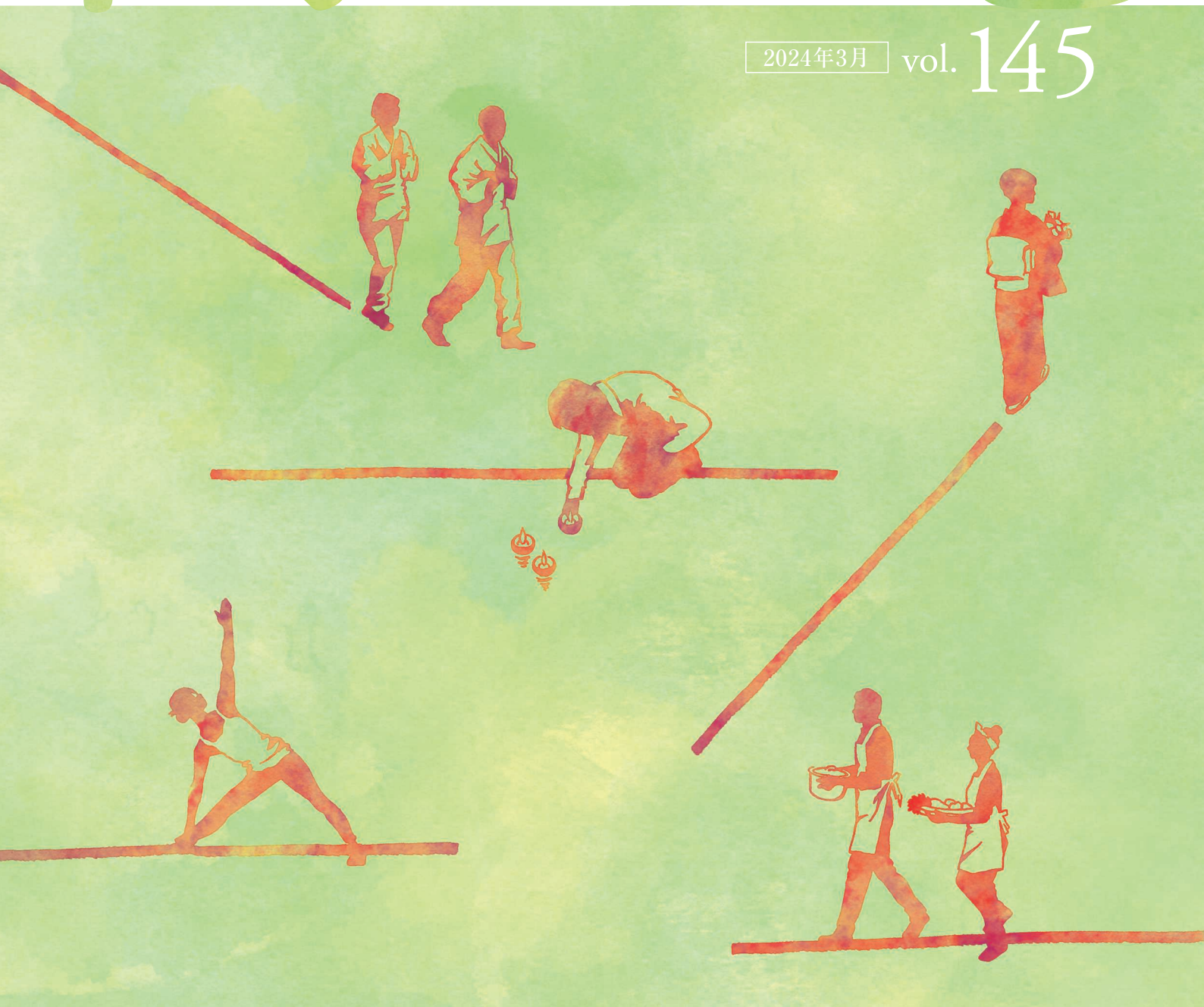
萬

B A N K I

亀

2024年3月

vol. 145



[特集]

共に踏み出す わたしの一歩



もくじ

- 1 住職挨拶
- 3 [特集]
共に踏み出す
わたしの一步
- 7 結の会 気仙沼ツアー
開催報告
- 9 御とうばについて
大切なお知らせ
- 10 東長寺こども食堂
- 11 お知らせ
- 15 山内行事
- 17 東長寺基本情報/
読者のひろば
- 18 結の会のご案内

[お詫び]
前月号萬亀の住職挨拶において、
人物名の表記に誤りがございました。
(誤)米永永世棋聖 (正)米長永世棋聖
謹んでお詫び申し上げます。

住職挨拶

能登半島地震災害につき衷心

よりお悔やみ申し上げます。

今から十年ほど前に輪島屋善
仁の中室社長とお話した時のこ
と。「いつの時代にも物づくり

に励みたい若者はいなくならないも

のです。私たちの本当の課題はそ

の腕に良い仕事を数用意し、その

物の価値を正しく伝えられる営

業を絶やさなことです」この言

葉が今も私の軸となっています。

当時、私も住職に就任したば

かり、中室社長も代替りされた

ばかり。職人の減少が嘆かれる伝

統工芸の業界に私が素人考えで質

問した内容に「恐縮ですが、それ

は違います」という言葉から続け

て出たその言葉の誠実さと丁寧な

言葉づかいに、心豊かな人格を感

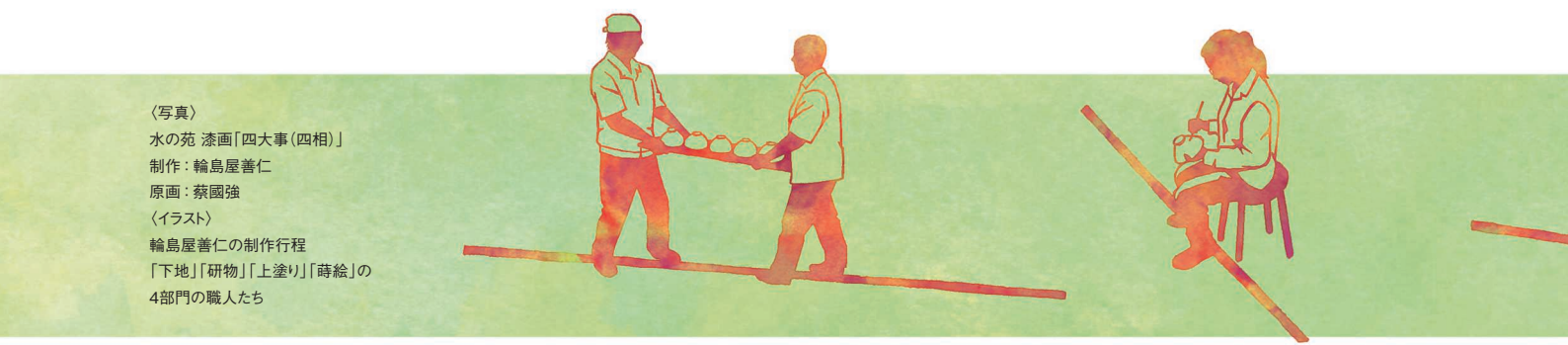
じて以来、国内最高の輪島の物づ

くりの圧倒的な品質を超えて、中

室親方のファンになりました。

伝統文化を繋げる立場として、

宗門にとっても次世代を担う若者



〈写真〉
 水の苑 漆画「四大事(四相)」
 制作：輪島屋善仁
 原画：蔡國強
 〈イラスト〉
 輪島屋善仁の制作行程
 「下地」「研物」「上塗り」「時絵」の
 4部門の職人たち

の減少は無関係ではありません。東長寺では若い僧侶が法要に携わり、檀信徒皆様の供養を通じて学びや成長の機会を頂戴しておりますことも、中室社長の影響に他なりません。いつの時代にも曹洞宗がもつ教義や法堂進退の美学に魅せられる者はいなくならない。そのご案内を檀信徒皆様に絶やさぬよう務める寺務員も同様に東長寺を支えています。

一月十六日、中室社長が東長寺に來山され、現在の状況をお話してくださいました。自社を超えて産業や組合全体の再生の道を考えていらつしやるそのお姿に改めて感服致しました。職員の中には自宅が全壊になった方もおられ、未だ避難所生活が続く、水道も通らない生活が続いているそうです。半壊全壊された家屋の数を考えれば、復興はもはや新たな

街作りに等しいと言えるのかもしれませんが。変化は恐怖。ですが、被災したことによって時計の針が回る災渦の中で、輪島の技術や物づくりの文化が継承進化し、その価値が知らしめられる時なのだと信じています。この災害からの復興は国史そのものです。それを成し遂げられる輪島の職人、そしてその魅力を伝える職員様の応援を檀信徒皆様と共に東長寺は続けていきたいと思っています。

二月の般若祈祷会では多くの方の災害復興のご祈祷をさせていただきました。お預かり致しました施財は輪島屋善仁様に御芳名と合わせ全額志納させていただきました。今号萬亀にもご案内させていただきます。引き続き皆様のお力添えを賜りながら支援を続けてまいりたいと存じます。

東長寺住職 瀧澤遥風

合掌

【左】2016年より続く東長寺こども食堂
【中】文由閣サロン「テーブル茶道」【右】仏弟子として歩み出す授戒式



「特集」

共に踏み出す

わたしの一步

元日に発生した石川県能登地震に心の痛む年明けとなりました。

東長寺には水の苑の漆画をはじめ本院の羅漢堂・文由閣の慈獄堂にある厨子や位牌壇など、輪島塗がいたるところに施されています。

それらを手がけた工房・輪島屋善仁から、

工房の損壊や関係者の自宅全壊など深刻な被害の一報を受け、

山内では地震発生直後より寄付金の呼びかけを行いました。

すでに皆さまよりたくさんのご支援を頂いております。

このような中で、過日東長寺は開創430年となりました。

変化の著しい現代において、

ひとつの節目を迎えられたことに感謝しつつ

あらためて思うのは、これからも

「寺のある暮らし」を檀信徒の皆さまと育んでいきたいということです。

今回の萬亀のキーワードは「踏み出す」。

山内の様々な交流と、輪島への支援について

踏み出すきっかけとなることを願って、様々な情報をお伝えします。



お寺のなかで

交流へ踏み出す

お寺は本来、生きている人が集うところ。

季節ごとの法要行事や、毎月のついでに法要以外にも

趣味や体験・学び、ボランティアなど

東長寺には人と人が交わる集いがたくさんあります。

ご自身の得意なことやご興味に合わせて、積極的にご参加ください。



ヨガ・囲碁・お習字… 各種教室・同好会に 参加してみる

山内では、サロン形式の教室や趣味の会・同好会など、参加型・体験型の集いを多種多様に開催しています。この5月から、文田閣で行うヨガ教室も新登場。寒さもゆるむころ、ぜひお出かけを。詳細は13～14ページをご覧ください。

2

毎月ついでに、お寺へ 仏教文化講座のお話に 耳を傾けてみる

座学形式で幅広い主題について学ぶ仏教文化講座は、コロナを経て昨年再開できました。能登半島地震を受けて、この春は災害の備えとなる講師の方々をお招きします。各月のテーマと講師情報など、詳しくは12ページをご覧ください。

受講の後は
ついでに法要・
萬燈供養へ！



言葉の交流を紙面で！ 手紙やメールを 萬亀編集部へ送ってみる

3



お身体が思うように動かないなど、外出が難しい時、お手紙やメールを萬亀編集部へ送って、紙面で交流してみませんか。お寺でおしゃべりするよう、皆様と言葉で交流しましょう。宛先は巻末17ページをご覧ください。

4

音楽会やギャラリーなど 文化イベントを 主催してみる



楽器の演奏が趣味という方、絵画や造形など美術の心得のある方。文田閣で演奏会や展示を開催してみませんか？発表する方も鑑賞する方も、伝え合う喜びを共に楽しみましょう。

[お問い合わせください]
文田閣 ☎ 03-5315-4015

令和6年能登半島地震

支援へ踏み出す

本院も文由閣も、山内檀信徒の皆様のお参り・祈りの場に必ず存在するのが輪島屋善仁の輪島塗です。その伝統の存続と、職人の暮らしが元日の地震によって脅かされる事態となりました。

重要無形文化財「輪島塗」の歩みを未来へと繋げるために支援を一步一歩進めていきたいと考えております。



文由閣の伝統工芸を手がけた職人の方々や水の苑の漆画と輪島屋善仁について、過去萬亀特別号No.3、竣工特別号No.1および萬亀143号で詳しくご紹介しております。



東長寺
ホームページより、
ぜひご覧ください。

<https://www.tochoji.jp/banki>

東長寺の祈りの場には
輪島塗があります



写真：浅川敏



写真：山城大督



写真：山城大督

文由閣「龍樹堂」位牌壇の制作風景と完成時の様子

支援に至った背景

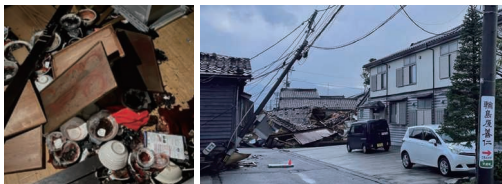
「未来の伝統」をつくるためにお寺ができることを

輪島塗に限らず、山内には日本の伝統工芸が随所に施されていますが、その多くは、開創400年記念事業および縁の会・結の会創立時に製作された近年の作品です。この背景には、未来の伝統となっていく今の職人・伝統技術を絶やさぬように支援する東長寺の理念があります。

伝統工芸と言っても、職人たちは同じものを作り続けているわけではありません。時代に合った解釈と最新の技術を加えて、過去には作れなかった最高のモノづくりを行おうと腕を磨いているのです。そして最高を更新し続けるからこそ、伝統は次世代へと引き継ぐことができます。

輪島屋善仁製作による水の苑「漆画」や文由閣「位牌壇」はまさにそんな職人たちの力が結実した大きなプロジェクトでした。一方で、技術や伝統をつなぐためには職人に継続的な製作環境があることも重要です。東長寺では、輪島屋善仁にお位牌の製作や漆画の修復を定期的に依頼することで、ささやかながら職人を支え、技術を未来につなぐエネルギーとなることを目指しています。

今回の地震では、日本海側の広範囲にわたって被害がありました。当山としてはまず、ゆかりある輪島屋善仁様を支える活動を中心に、その支援へと踏み出してみたいです。



震災直後、上塗の部屋に散乱する漆と家屋の倒壊する工房周辺
(輪島屋善仁Facebookより)

輪島屋善仁 被災状況

中室親方の来山で見たもの

地震発生の衝撃がまだ鮮烈だった1月中旬。輪島屋善仁の中室親方(社長)が東長寺に来山し、現状と今後についてお話いただきました。この出張は、輪島屋善仁が全国各地に抱える顧客に、仕掛り中の品物の状態や、今後の納品について状況を伝えるためのもの。親方自らがこのようにいち早く行動されたのは、江戸時代より続く「行商」の伝統と輪島塗の塗師屋としての責任感あつてのことだったと思います。

お話を伺っていると、予想以上の深刻な被害状況であることが明らかになりました。職人・職員全員の無事が確認できた一方、ほとんどの職員が自宅の倒壊などによる避難を余儀なくされていること。工房の建物や設備が激しく損傷し、使用不能となつてしまったこと。注力していた貴重な日本産漆の保管倉庫や、製作途中の作品を保管していた建物も全壊。さらには同社が1990年に復元し、檀信徒旅行でも訪れた明治の町家「塗師の家」(昨年輪島市へ寄贈)も、河井町の大火により焼失。製作

に長い時間のかかる輪島塗ですが、完成した漆器もほとんどが破損し、商品とならなくなつてしまったということでした。

このような状況にあつても中室親方は職員や職人、その家族にいたるまで心を配りながら、再建に向けた道を探っており、次のように語られました。「まずは、とにかく工房の職員・職人の生活を立て直すこと。その後、工房を復旧させ、仕事を再開することを目指しています。職人の半数は県外に避難しています。が、「地の粉(輪島塗特有の素材)」以外の素材や道具などは、輪島以外の場所でも入手できるので当社もなんとか製作を開始できる状態にしたい」

お位牌の製作について 皆様へのお願い

塗り替え・新規製作ともに平常時に比べお待ちいただく状況です。工房の体制を整えた後、輪島屋善仁より改めて報告いただくことになっております。どうかご了承いただきますようお願いいたします。

輪島情報の発信をはじめます

目指す状態に復興するまで、被災地の状況を折々に確認し、心を寄せ続けることが大切です。今後萬亀では、現地の情報を「輪島だより」としてお伝えしていく予定です。

東長寺チャリティーイベントもぜひ、ご参加ください

支援活動を続けています

このたび、寄付金専用振込口座を開設いたしました。こちらにお預けいただいた浄財は、輪島屋善仁支援として、寄付させていただきます。また萬亀紙面にて、寄付状況をご報告いたします。

今後山内で、寄付・支援に繋げる様々なイベントを開催していく予定です。詳しくは11ページ掲載の「お知らせ」及び萬亀に同封のちらしをご覧ください。

口座名称 トウチョウジ

● ゆうちょ銀行(郵便局)から振り込む場合

[口座記号番号]00100-9-695869

● 他の銀行から振り込む場合

[銀行名]ゆうちょ銀行
[店名]〇一九(ゼロイチキュー)
[店番]019
[口座番号]当座0695869

大般若祈禱会 災害復興ご祈禱の御礼

法要開催間際の呼びかけにも関わらず、たくさんの方にお心をお寄せいただきました。深く御礼申し上げます。詳細は次号萬亀にてご報告いたします。

「結」を訪ねて

[ツアー開催報告]

会員の皆様と 清涼院を訪問する ツアーを初開催しました

ツアー行程
MAP



【右】清涼院 本堂。【左】被災した学校校舎が当時の姿のまま保存されている気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館にて。



去る2023年11月半ばに催行した「秋の気仙沼 清涼院ツアー 2日間」。

結の会新規入会の方で分骨先に清涼院を選ばれた方を対象に開催し、7名の方が参加されました。清涼院を護る三浦住職とご子息の賢道副住職、正道師が二日間にわたって同行くださり終始和気あいあいとした雰囲気にもまれる、素晴らしい旅となりました。



中尊寺にて

結ばれるご縁に感謝する旅

「人が大好き」という三浦住職が、訪れる人を和やかに迎える清涼院。結の会・両墓制を支える分骨先寺院のひとつです。かねてより、会員の皆様と交流することを願っていた三浦師方々の元へ、結の会会員様やそのご家族、さらに結の会事務局スタッフと東長寺僧侶も加えた一行で訪問することが叶いました。「生きていくときにお会いできて、本当によかった」と喜びの笑顔で語る住職のご挨拶に続き、樹林葬の埋葬地を見学。会員の皆様と共に、作務で美しく整えられた森を歩きながら、その場でご自身の埋葬地を選んでいただきました。「今日自分で場所を決めていいんですね!」と感激のご様子に、私たちスタッフも心温まるひとときでした。

今回の旅はご参加の皆様同士による楽しく親しい交流が活発だったことも印象的でした。新幹線での車中から中尊寺での観光、旅の終わりまで和やかな雰囲気です。「こんな素敵な縁に恵まれて、とっても最高の旅です」と仰っていただけ、スタッフ一同感動いたしました。

結の会事務局として初めての取り組みでしたが「自分の大切な居場所がもう一つ増えた」という思いを共感するツアーとなり感謝しております。結の会が掲げている「お墓を選ぶことで始まる交流や、エネルギーの循環」を実感できる場を今後も開催していければと願っています。



会員様

ペットと共に眠る場所を知り 安心しました

土にかえる。樹木葬とはどんな場所なのか。その場を実際に今回のツアーで目にする事ができて、又どんなお坊様がたがお寺を守っているかを知り、安心することができました。「お寺は生きている人が集まる場所にしたい」と三浦住職が冒頭で話されたことが印象的でした。

会員様のお母様

心に残る清涼院御住職の 暖かいお人柄と生き方

娘達夫婦が永眠の地は愛犬と共にとの希求に添った地を得、一緒に参拝をいたしました。何よりも御住職父子お三人の暖かいお人柄にふれ感激いたしました。海の幸を満喫し、又御同行の皆様とも楽しく御一緒

できましたこと、美しい紅葉の中尊寺とともに忘れがたい旅でした。



皆様に聞きました!

この旅で、こころに残ったこと

ご夫婦でご参加の会員様

震災後一度手を合わせに、と 思っていた場所へ

入会時、今回の旅行のお話を伺い、是非にと思っておりました。御丁寧に写真まで送って頂き、夫婦にとって大きなXmasプレゼントになりました。御一緒させて頂いた方々、初めてとは思えない位お話も出来、御縁を感じる2日間でした。

会員様

ふとした瞬間によみがえる 気仙沼や中尊寺の風景

個人ではなかなか伺えない清涼院を見学できてよかったです。僧侶の方々との交流も楽しく、こんなにお寺を身近に感じたのは初めてでした。震災伝承館は胸に迫るものがあり、少なからず衝撃を受けましたが、町の復興の様子をバスから眺めることもできて、力強い希望を感じました。



会員様

独りで参加する初めての旅 とても心地よい時間でした

十数年前に東長寺の申し込みに両親の付き添いとしてだけ訪れた私でしたが、「ペット共葬」という新たな取り組みのお陰で縁を結ぶことができ、今回のツアーでもまたお会いしたいな!と思う方と沢山出会うことができました。素晴らしい景色や美味しいご飯以上のプレゼントでした。

東長寺僧侶

様々な方と交流する 貴重な機会をいただきました

結の会は生前にご入会される方が多いにも関わらず、私たち僧侶は法要以外で直接皆様と交流する機会がこれまであまりありませんでした。今回、会員様ならびに三浦住職方々と直にお会いし、素晴らしい経験となりました。今後も様々なイベントを通して会員の皆様と交流できる場を大切にしていきたいと改めて思いました。



見つめずにはいられない。土地の記憶と自然の力に出会う場所

清涼院をご縁に 今こそ気仙沼を旅してみませんか



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
津波の被害がそのまま残る校舎に、当時の映像や資料が展示されています。三浦住職が語り部となって、案内していただきました。



気仙沼 冬の風物詩 気嵐(けあらし)
気嵐は雲海のような幻想的な情景を生み出す自然現象。この日は、地元の人が「今シーズン、最強」と驚くほどしっかりと見られました。



世界遺産 中尊寺
清涼院から車で70分ほどで到着する世界遺産のお寺。移動中は雨模様だったものの、お参り中はよく晴れて、紅葉が鮮やかでした。

こちらも
ご注目を!



清涼院の日々を発信する
三浦正道師のFacebook

宮城県・気仙沼と清涼院がぐっと身近になる三浦正道師のFacebook。日々の作務や季節の美しい写真のほかに、国内外の人々が集う清涼院のイベント情報が満載です。ぜひチェックしてみてください。



三浦賢道副住職が東長寺へ
5月の仏教文化講座で登壇します!

東長寺におつとめされていた賢道師は、帰郷して間もなく震災を経験。過酷な状況下でも人々の笑顔が絶えなかった清涼院の復興の物語をお聞きしましょう。開催情報の詳細は12ページをご覧ください。

御とうばについて 大切なお知らせ

故人を偲ぶ皆様より法要の折々にお申し込みいただき、御とうばについて、大変に心苦しいのですが値上げと一部大きさの改定をするこゝといたしました。近年、身の回りのあらゆる品々において、物価上昇の速度が増したことは皆様も感じているところと思います。御とうばも例外ではなく、近年は特にロシアのウクライナ侵攻の影響で、木材・原油の物流が停滞し、これによって原材料費の高騰が続いております。制作を請け負う塔婆屋の提示価格もこの1年で2度、3度と

値上げを余儀なくされております。東長寺ではこれまで、縁の会発足より約30年、お檀家の皆様の御塔婆においては50余年に渡り、代金を据え置き、なんとか値上げを回避してまいりました。しかし、御とうばを取り巻く状況は今後改善される見込みがなく、いよいよ今までの価格で維持することが困難な状況となりました。誠に恐縮ですが、今年の3月10日お申し込み分より下記のように改定させていただきます。どうかご了承くださいますようお願い申し上げます。

2024年3月10日改定
御とうば価格

お檀家御塔婆

1本5千円と
いたします

大きさを5尺に
統一いたします

※これまでの6尺塔婆(5千円)、
4尺塔婆(3千円)を廃止します。

縁の会・結の会
花とうば

1本2千5百円と
いたします

※旧価格より5百円の値上げとなります。



東長寺の御とうばへの取り組み

**古い御とうばを
資源に換えることで
環境保全に配慮して
おります**

以前はお焚き上げをしていた御とうば。焼却炉の使用が不可となった現在、古い御とうばを木材チップ化する取り組みを行っています。

※リサイクル時は戒名や施主様の名前などがわからないほどまで細かく破碎し木材チップ化します。



御とうばとは…

塔婆を立てることは善行のひとつです

塔婆を立てることのように、私たちが善い行いを重ねることは故人の供養になり、冥福につながると考えられています。もう一つの目的は、故人の死と向き合い、残された人の心を慰めることです。塔婆は故人への思いを伝える手紙のような役割も持っているのです。そして、故人を思う気持ちもまた供養となるのです。

塔婆を立てるきっかけも手紙と同じように考えてみましょう。特定の日である必要はありません。ご命日や行事はもちろん、誕生日、記念日などに立てるのもよいでしょう。施主として、どなたでもお塔婆を立ててよいのです。



とうちょうじ しょくどう 東長寺こども食堂



子連れの方ならどなたでもご利用いただける、食事の場と、遊び、学びの場を提供するためにボランティアスタッフが運営しています。

こども、そして保護者にとっての居心地のよい場所であることを大切にしています。

※詳しくはお電話またはInstagram、Facebookよりお問い合わせください。

Instagramは
こちら！



Facebookは
こちら！



クリスマスケーキをこんなにたくさんいただきました。

チームワークが光る盛り付け作業。初めての参加でも大丈夫です！

お寺にもサンタがやってきました！

クリスマスイブの当日、地域に住まいの方からのご厚意により優先世帯のご希望の家庭にクリスマスケーキをプレゼントしていただきました。チョコか生クリームが好きな方を選んで、大人も子供もとでもうれしそうでした。つづく28日のお餅つきには大勢の親子が来てくれて、お餅を搗いたり、搗き立てのお餅をほお張ったり、こどもたちの明るい声と笑顔は、まわりいっぱい元氣

ボランティア募集 ご連絡先

電話
03-3341-9746

メール
ayakot@tochoji.org

担当：金剛地(こんごうち)・松村

こども食堂開催日

3月12日(火)・24日(日)
4月 9日(火)・21日(日)
5月 7日(火)・19日(日)
6月 4日(火)・16日(日)



たくさんの方で賑わった年末のお餅つき。

を分け与えてくれるようでした。現在こども食堂を利用している子だけでなく、お餅つきのことを聞きつけて来てくれた子もいました。お弁当主体になってからはこどもたちの姿を見ることが少なくなりましたが、地域に根付いていると実感できる瞬間でもありました。2024年は心痛む幕開けとなりましたが、助け合いの心をもって、地域の親子にとって身近な存在であるように、また一年、安心安全なこども食堂を続けていきたいと思えます。

こども食堂にご賛同いただき、ご寄附くださった方々

鈴木杜幾子様、青木克郎様・町子様、三崎ゆきこ様、渡邊友子様、前田高雄様、故・上野章子様ご遺志、樋口文子様、小野良子様、吉原美穂子様、久保時江様、丸山美和子様、逸見玉枝様、阿部美江子様、丸山美也子様、高橋梢様、須田早野江様、及川由紀様、山近久子様、ゼゼグラフ ムラカミケン様、東京鹿踊様、匿名ご希望 17名様
皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。郵便振替口座へご寄付の際に、ご芳名を記載させていただける方は是非ご一報ください。

私達の暮らしに関わる様々な社会問題に焦点をあて、市民にできることを考える「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2024」2月10日に開催された同イベントに東長寺こども食堂がパネリストとして招かれました。当日は金剛地よりお寺の活動をご紹介しながら「地域の中における「居場所」が、普段の生活はもちろん、災害時に生きてくる」という主題について意見交換を行いました。

社会課題を考える イベントへ登壇参加

東長寺のSDGs

引き続き、お米や食品、またはお米券や余っている商品券などを募集しております。尚、ご送付の際は、お手数ですが、内容・日程等を、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。また、「こども食堂宛に寄付金を送金したい」という有り難いお声を受けて、振込口座を開設しています。

● ゆうちょ銀行(郵便局)から振り込む場合

[口座記号番号]00160-1-768735
[口座名称]トウチョウジコドモシヨクドウ

● 他の銀行から振り込む場合

[銀行名]ゆうちょ銀行 [店名]〇一九(ゼロイチキュウ)
[店番]1019 [口座番号]当座0768735
[口座名称]トウチョウジコドモシヨクドウ

[問い合わせ] 03-3341-9746 東長寺(担当:金剛地)

東長寺では、持続可能でよりよい世界を目指しながら「誰一人取り残さない」という国際目標「SDGs」の実現に身近なことから取り組んでいます。このページでは、こども食堂の活動を中心に、その他のSDGsアクションをご紹介します。



新たにヨガ教室が始まります!

お知らせ

春彼岸会法要の日は
「ものめぐり市」も
お楽しみに

檀信徒の皆様から寄せられた「魅力あるモノ」を、次の使い手につなぐ「ものめぐり市」を春分の日
に初開催します。日本の造り手による知られざる名品のブースも出
店予定。春彼岸会法要ご参詣と併
せてぜひお越しください。

会場…文由閣1階及び3階
日時…3月20日(水・祝)
10時～16時

3月21日・22日開催!
チャリティー 輪島塗で頂く
精進料理の会

漆器に触れて、使って、味わっ
て…。輪島に心を寄せましょう。
参加費の一部を輪島屋善仁支援に
寄付させていただきます。

開催日程や会費など、詳しくは、
萬亀に同封のちらしをご確認ください。
ださい。

音楽で輪島を応援!
チャリティー 歌とフルートの
コンサート

仏教讃歌を歌う会の講師、声楽
家・高部さち氏のコンサートを文
由閣3階にて開催いたします。皆
様のご来場をお待ちしております。

会場…文由閣3階
日時…5月17日(金)
13時半開場/14時開演
出演…高部さち(歌)、
中島恵(フルート)
入場料…3千円
入場料の一部はチャリティーと
して輪島支援に活用させてい
た
だきます。

チョコ募金のご報告

年末年始のお墓参りの折などにお求めいただきま
して、今年も年明け早々に30セットすべて完売い
たしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げ
ます。お預かりした6万6千円と、東長寺ボラン
ティア会より3万4千円を加えた総額10万円を、
NPO法人「日本イラク医療支援ネットワーク」に寄
付させていただきました。

エスピー食品さんと 岩手県一関市共同の 「食ロスゼロカレーセット」を ご寄付いただきました

岩手県一関市とエスピー食品
さんの連名で、東長寺こど
も食堂に白菜・長ねぎ・
椎茸など新鮮なお野菜と
カレーをいただきました。
一関市は、かねて
より子どもたちに「フードロ
ス」を考える機会を持ってほし



中華丼を
作りました

い、と全国のこども食堂に地元で採れた美味しいの
に規格外の野菜を送る活動をしているそうです。今
回のお野菜は中華丼に! カレーは後日、ありがたく
調理いたしました。

添菜单

須田早野江様(てぬぐいたくさん)
溝江良子様(お米たくさん)
田口千絵様(タオルたくさん)
生方組様(お米・カレンダーたくさん)
関根弘子様(お線香たくさん)
坂井愛子様(タオルたくさん)
廣野八哉様(お線香たくさん)
匿名ご希望 4名様
誌面をもって深くお礼申し上げます

呼吸を深め、身体を気持ちよく
伸ばしたり、少しだけ頑張っ
て筋力強化をしていきます。原則、日
曜日・月1回の開催予定。詳しく
は14ページをご覧ください。

NEW
5月より文由閣で
ヨガ教室が始まります

開催済 山内行事のご報告

■懺悔会・餅つき

ご参列の皆様とともに一年間の行いを懺悔し、来たる一年の災障消除をお祈りいたしました。4年ぶりに檀信徒有志の方にもお手伝い頂きながら開催したお餅つきでは、搗き立てのおもちも提供し、賑やかさが戻ってきました。



餅つきに初参加の協臨師



お焚き上げを待つ懺悔帳(懺悔会にて)

■歳末法要・除夜の鐘・年始法要

大般若を転読し、新年の多幸と平和を祈念いたしました。めずらしく寒さと和らぐ夜となり、除夜の鐘には長い列ができ、皆様と新しい年を慶び合いました。



除夜の鐘をつくために並ぶ参列者の皆様

■大般若祈祷会

皆様の諸願成就のご祈祷とともに、この度は特別に能登半島地震災害復興を御祈念いたしました。災害復興のご祈祷料は(株)輪島屋善仁さんへご寄付いたしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。詳細は次号にてご報告申し上げます。

ぜひご参加を！

毎月ついでには 仏教文化講座へ 「災害」のこと 今こそ学びませんか

4月・5月・6月の仏教文化講座に、公的支援担当者など、多様な視点から災害に関する実経験・見識のある講師の方々をお招きします。ボランティア運営のプロフェッショナル・被災と復興の経験者・地域に根ざしたお誘いあわせいただければ幸いです。

4月1日(月)

テーマ「我がまちで災害が起こったら…」

「私たちができること、すべきことは…」

講師：福田信章氏(災害協働サポート東京業務執行理事・東京災害ボランティアネットワーク事務局長)
災害が起こる前の防災・減災活動が災害時に役立ちます。日頃から地域でどんな備えをしたらいいのか、被災地支援からの気づきとともにお話しします。

【講師プロフィール】
中央大学在籍時、阪神・淡路大震災のボランティアを開始。2015年から東災ボ事務局長。2021年発足の災害協働サポート東京には準備会から関わる。

5月1日(水)

テーマ「震災から13年、清涼院の今とこれから」

講師：三浦賢道師(清涼院副住職)

東日本大震災から13年目。あの日から地域と共に復興への道のりを歩んで来ました。そこに生きる人々と共に、清涼院のいまと、これから目指すものとは。

【講師プロフィール】
1994年に福井県、永平寺に上山。同県武生の御誕生寺の托鉢修行の後、東長寺に勤務。生家の清涼院に副住職として戻り東日本大震災が発生。

6月1日(土)

テーマ「地域の支えあいから考える、災害の備え」

講師：長谷川真也氏(新宿区社会福祉協議会地域活動支援課)
災害への備えはまずは自分の身を守る自助、そして助け合う共助、公的な助けを受ける公助、もう一つ大切なのは近所です。災害に備える地域の支えあいとは。

【講師プロフィール】
新宿区での発災時、災害ボランティアセンターの立上げ運営を行う担当者。令和元年台風15号の時に千葉県銚南町に災害派遣・被災地支援を経験。

予約不要

参加費：無料 場所：本院地下「羅漢堂」

時間：16時半開場／17時開講

集まる・学ぶ

寺のあるくらし

ひと月に1度、お寺で過ごす予定を入れてみませんか。
新しい出会いや気持ち、ちょっとした学びを探しに、ぜひお寺へお越しください。

※印の付いた教室・同好会に新規参加ご希望の方はお電話にてお問い合わせください

仏教に触れる
集いとイベント

⑧【坐禅会】

坐禅は、曹洞宗にとって最も大切で基本的な修行です。初めての方も、お坊さんと坐禅してみましよう。

参加費..お布施(300円程度)

場所 .. 本堂

開催日.. 3月9日(土)・23日(土)

4月13日(土)・27日(土)

5月11日(土)・25日(土)

6月15日(土)・22日(土)

時間 .. 18時より



曹洞宗の坐禅は壁に向かって行います

⑨【写経の会／お経の会】

般若心経を丁寧に書写していく写経の会と、仏教の本を読み上げて学ぶお経の会の2つを同時開催しています。

参加費..各会千円

場所 .. 本院書院

開催日.. 3月15日(金)

4月19日(金)

5月17日(金)

6月21日(金)

時間 .. 11時より

※写経の会、お経の会は別々の会となります。最初に合同でお経を読んでもらうので、各会に分かれます。



写経の会の様子



お経の会の様子

⑩【仏教讃歌を歌う会】

仏教の教えを知る「仏教讃歌」を合唱形式で歌う同好会です。

参加費..千円

場所 .. 本院カフェきあん

開催日..原則第三金曜日

時間 .. 14時より

※先生のご都合で、第三以外の金曜日になる場合があります。

※講師をつとめる声楽家・高部さち氏のコンサートを文由閣3階にて開催します！
詳しくは11ページをご覧ください。

⑪【寺カフェ】

お茶やコーヒーをいただきながら、東長寺にとめるお坊さんたちと交流しましょう。開催中は好きな時間にお越しください。

予約不要

参加費..お飲み物300円など

場所 .. 文由閣1階ロビー

開催日.. 3月16日(土)・28日(木)

4月3日(水)・26日(金)

5月2日(木)・30日(木)

6月5日(水)・27日(木)

時間 .. 15時から閉門迄

連絡先.. 結の会事務局

各種教室と同好会

※以下の会は休会いたします。
折り紙教室、水彩画同好会、お掃除ボランティア

⑫【碁縁の会(囲碁)】

静かな空間に碁を打つ音が響く、集中と交流のひとつとき。

参加費..無料

場所 .. 本院カフェきあん

開催日.. 3月14日(木)・28日(木)

4月11日(木)・25日(木)

5月9日(木)・23日(木)

6月13日(木)・27日(木)

時間 .. 12時半より

⑬【そば打ち同好会】

今年の3月より再開しました。4月以降の開催についてはお電話にてお問い合わせください。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費..千500円(材料費込)

場所 .. 本院食堂

時間 .. 10時から13時迄

連絡先.. 担当舟木

☎ 04-2001-0711

※蕎麦はお持ち帰りとなります。

【太極拳】

深い呼吸とともに、ゆったりとした動きの中から、体軸を整えていきます。年齢を問わず、生涯を通じて楽しむことができます。

参加費… 300円

場所 … 文由閣 3階講堂

開催日…

3月6日(水)・13日(水)・27日(水)
4月3日(水)・10日(水)・24日(水)
5月8日(水)・15日(水)・22日(水)
6月5日(水)・12日(水)・26日(水)
時間 … 10時半より



身体をゆっくり動かす
太極拳

NEW 【ヨガ】

文由閣の落ち着いた空間にて行うヨガで、心と身体をリフレッシュしましょう。運動量が異なる2種類のクラスがあります。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 千500円

場所 … 文由閣 3階講堂

開催日… 5月12日(日)

6月9日(日)

クラスと時間…(各回75分)

① 流れるように動こう！

フローヨガ 9時45分より

② ゆっくり丁寧に動こう！

ハタヨガ 11時30分より

定員 … 各回8名(①②の参加者

合計4名より催行)

※お手数ですがヨガマットをご持参ください。100円ショップなどで300円〜500円で販売されているマットでも十分です！

文由閣サロン いずれも文由閣1階にて開催します

【テーブル茶道】

流派にとらわれず、自分のためにゆっくりお茶を点ててみましょう。道具の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円

(お茶、季節のお菓子付)

開催日… 4月16日(火)

5月14日(火)

6月11日(火)

時間 … 14時半から16時迄

定員 … 8名

※お気に入りの器があれば、ご持参を。

【テーブル華道】

四季折々の草花で、暮らしに彩りを添えましょう。道具、花の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円(花材費込)

開催日… 3月26日(火)

6月18日(火)

時間 … 14時半から16時迄

定員 … 8名

※使い慣れた生花鉋をお持ちの方はご持参ください。

【お習字教室】

毛筆・硬筆どちらでも基礎からしっかり学べます。経験者の方は上達に合わせたお手本に取り組みます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 2千円

開催日… 4月22日(月)

5月27日(月)

6月24日(月)

時間 … 14時半から16時迄

定員 … 8名

(参加者3名より催行)



筆を持つのがひさびさでも大丈夫です

【リブウェル・サロン】

今をよりよく生きるために、人生の終わりの時について前向きに学びましょう。

事前予約制(お電話にて当日前迄)

参加費… 無料

時間 … 10時から12時迄(個別相談を含む)

定員 … 10名

連絡先… 結の会事務局

開催日とテーマ…

3月12日(火)「終活にお金は必要？」
3月26日(火)「亡くなった後、すぐやるお手続き」
4月9日(火)「エンディングノートの役割と目的」
4月23日(火)「エンディングノートと終活」
※リブウェル・サロン、終活セミナーの詳細については、萬亀に同封のちらしもご確認ください。



少人数で開催するリブウェル・サロン
質問もお気兼ねなく



山内行事

2024.3月—6月

ついで法要

【日時】4月1日(月)・

5月1日(水)・6月1日(土)

各日、18時30分開始

毎月ついでたちにおつとめする、その月に亡くなられた方を偲び供養する法要です。読経では戒名を讀み上げ、参列の皆様で水の苑に燈明を流す「萬燈供養」をいたします。檀信徒のみならずどなたでも参列いただけますので、故人とゆかりのある知り合いの方やご友人もぜひお誘いください。

授戒式

【日時】4月1日(月)

お釈迦様より伝えられた戒律を授かり、仏弟子となる儀式です。縁の会・結の会会員で未授戒の方を対象に年に2回厳修しています。まだ授戒されていない方で参列ご希望の方はご連絡ください。すでにお申し込みを頂いている方には詳細を追って別送にてお知らせいたします。

【左 上・下】授戒式(昨年10月の様子) 【右】ついで法要の萬燈供養(今年の元日の様子)

春彼岸会

【期間】3月17日(日)～23日(土)

春分の日を中日とし、前後3日間を合わせた計7日間が彼岸会の期間となります。ご先祖を供養する期間として、お墓参りや善行を心がけましょう。

●お墓参りは、本院・文由閣いずれも開門時間内にお参りください。

お彼岸をきっかけに「六波羅蜜」を実践しましょう

「六波羅蜜」とは、仏となるために実践する「六つの道しるべ」のことです。次にあげた六波羅蜜を、お彼岸の期間に実践してみませんか。

- 一、布施 思いやりを持ち、ほどこすこと
- 二、持戒 規律を守り、自らを調えること
- 三、忍辱 耐え忍び、寛容であること
- 四、精進 常に善い行いをすること
- 五、禅定 心穏やかに過すこと
- 六、智慧 正しく物事を見て判断すること

春彼岸会法要

左記の日程にておつとめいたします。万障お繰り合わせの上、御参詣並びに御焼香くださいますようご案内申し上げます。

【日時】3月20日(水・祝)

第一座…10時受付

10時半打ち出し

第二座…12時受付

12時半打ち出し

第三座…14時受付

14時半打ち出し

●出欠は御とうばのお申し込みとともに、萬龜に同封の「申し込みはがき」にてお知らせください。

●ご参列の有無にかかわらず、萬龜に同封の「申し込みはがき」より、御とうばのお申し込みを承っております。春彼岸会法要にて、志主のお名前を讀み上げ、ご供養させていただきます。詳細は左記16ページに掲載の枠内をご確認ください。なお、御とうばをお申し込みにならない場合は、「申し込みはがき」の返信は無用です。

「花まつり新年会」

「日時」4月7日(日)／

11時半から(15時散会予定)

「会場」東長寺

萬亀前月号でお知らせした内容から変更となり、今年は山内にて開催いたします。

本堂で釈尊降誕会法要をおつとめしたのち、皆様の賀寿を祝う祝宴を書院にご用意しております。

●参加申し込みの受付は終了しております。

「平和の祈り」

4月8日(月)正午

釈尊降誕会に際し、正午に梵鐘を鳴らして平和を祈ります。ご家庭でも仕事場でもどこでも結構です。手を合わせ、平和な日々が訪れることを願いましょう。



平和の祈りの梵鐘
(昨年の様子)

「観音供養祭」

「日時」5月26日(日)／13時より

観音様を讃えるとともに、観音堂にお祀りされた方々のご供養をいたします。

●御とうばのお申し込みを承っております。ご希望の方は、お電話(東長寺代表宛)にてご連絡ください。

「護持会総会」

お檀家の皆様を対象とする護持会総会を、本年は観音供養祭と同日に開催いたします。

詳細は追って別送にてお知らせいたします。

春彼岸会など、季節の大きな法要の時には、郵送にてお布施をお預かりした際に受取済みの連絡を個別に差し上げることができません。誠に申し訳ございませんが、あらかじめご了承ください。

春彼岸会法要

御とうばのお申し込み方法・ご注意

申し込みはがきについて

宛名の面に、ご住所・ご芳名・電話番号を必ずご記入ください。切手は不要です。施主氏名にはフリガナをふってください。

御とうば代金および回向料御志納方法

来山時にご持参いただくか
「現金書留」又は「郵便振替」よりお選びください。

現金書留をご利用の場合

①萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

②現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、

「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。
※必ず「申し込みはがき」を現金書留封筒に同封ください。

郵便振替をご利用の場合

①萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入の上、投函ください。

②萬亀に同封の「払込用紙」にお名前、連絡先をご記入の上、払込手続きを行ってください。

※必ず萬亀に同封の「払込用紙」をご利用ください。

お申し込み締切日 **3月15日(金)必着**

その他

- ・花とうばの場合は、連名不可とさせていただきます。
- ・お檀家御塔婆は1本5千円、花とうばは1本2千5百円です。



春彼岸会法要(昨年の様子)

東長寺 基本情報

■開門時間について

9時から17時までといたします
(ついでに法要開催日を除く)。

■電話での対応

9時半から17時までといたします。

【代 表】03-33341-9746

【縁の会】03-33353-6874

【結の会】03-5315-4015

■御葬儀、年回忌の法要について

山内葬儀、出張葬儀、年回忌法要
(参列者なしの場合を含む)もおつ
とめしております。詳しくはお電
話にてお問い合わせください。

■お墓参りについて

開門時間内にお参りください。ま
た、**墓所において、害獣・害虫に
よる被害が発生しております。**せ
つかくのお供え物ですが、お参り
が終わったあとはお持ち帰りくだ
さいますようお願い申し上げます。

■ついでに法要について

毎月ついでに、その月に亡くなら
れた方のお名前を読み上げ、ご供
養しております。どなたでも予約な
くご参列いただけます。

●法要開始18時30分

■花とうばについて

山内法要へのご参列の有無にかか
わらず、花とうばを随時承つてお
ります。詳しくは左記をお読みい
ただき、お電話またはFAXにて
お申し込みください。

【電 話】03-33341-9746

【FAX】03-33341-2150

●お申し込みの際に、次の①②③
をお知らせください。

①故人のお名前

②施主のお名前

※FAXの場合は、ふりがなも
記載ください。

③花とうばの本数

●施主は連名不可です。

【代 金】1本2千5百円

●お支払いは現金書留にてご郵送
いただくか、次回ご来山の際に
ご持参ください。



読者のひろば

お寺でおしゃべりするように、うれしいことも、悲しいことも。お寺に届いたおたよりのご紹介

家族法要に10歳のお孫さんと参列した方の心あたたまるメッセージと、お孫さんの作文を抜粋にてお届けします

お手紙(一部)

私の(一人だけの)孫が自由課題の作文に、法事のことを書きました。孫とは彼女が4才頃より手紙と葉書きのやり取りをしています。嬉しさばかりでなく微笑さえし、実に"祖母馬鹿"と思いつつも皆様に知って頂きたくお読み下さればと存じます。法事という初体験とお寺さんに初めて伺った思いを率直に書いたものでございます。

お孫さんの作文(一部)

「法事とお焼香」

初めて法事に参加して印象に残った事があります。ひとつ目は、曹洞宗なのに座禅をしなかったことです。最初は座禅をするのかと思っていました。けれどいすに座るだけでよかったので安心しました。二つ目は焼香をしたことです。初めての焼香だったので前の人のやり方をじっくりと観察しました。お香をおでこにくっつけてしまいました。けれどすました顔で自分の席に戻りました。後で母に聞くとおでこには付けずにおでこの前で念を送るだけだと言っていました。やり方をまちがえていたのが恥ずかしかったです。

萬亀紙面でお手紙やメールの交流をしませんか。

暮らしのなかで出会った「誰かに伝えたいこと」を萬亀編集部宛にお送りください。

メール info@tochoji.org

おはがき・お手紙 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 東長寺「編集部」宛

次号予告

萬亀

2024年6月号 vol.146

【特集】

「わたし」を慈しむ
夏

※内容は変更になる場合があります。

参詣の皆さまへ

山内では安心してお参りいただけるよう清掃・消毒・換気に留意しております。ご来山の際には引き続き、風邪や季節性インフルエンザなどが重症化しやすい高齢の方への配慮をお願いいたします。

永代供養墓

結の会のご案内

無縁の縁を結ぶ

～時代を見据えた新しい祈りの形～

これまでの血縁を中心とした供養の形にしばられず、遺族に負担をかけずに、自分の人生観、死生観にたって、選ぶことのできるお墓です。

輪島塗に身体ごと包まれる 結の会「龍樹堂」(納骨堂)

龍樹堂の位牌壇と厨子は、石川県輪島にある工房「輪島屋善仁」で製作されたものです。位牌壇は、大胆な曲線による構成と部屋全体を囲むような大作で輪島史上初のスケールといわれています。樹木から採取され、木の命をいただく「漆」。お参りの際には、その独特の瑞々しさと優しさにふれながら、輪島にも思いを寄せていただければと願っています。



◀ 工房での製作時の様子
写真提供：輪島屋善仁

結の会 ご入会による
「輪島支援」
キャンペーン実施中!

詳しくは萬亀に
同封のちらしを
ご覧ください

資料請求や個別の見学予約も随時受け付け中です

会員様はもとより、未入会のご家族やお知り合いなど東長寺にご興味のある方もご遠慮無く、ご連絡いただければ幸いです。

「結の会」の詳しい情報はこちら

<https://tochoji.info/>



お問い合わせはこちら

TEL. 03-5315-4015 電話受付時間
9:30～17:00(日曜・祝日も受付)

MAIL toiawase@tochoji.org

どんなことでもお気軽にお問い合わせください

縁の会会員の皆様へ

結の会にて受け付け中の「ペット共葬」や「樹林葬」は、縁の会会員様も契約変更によりお申し込みいただくことが可能です。

詳しくは、文由閣に常駐の結の会事務局スタッフをお訪ねいただくか、上記のお電話またはメールアドレスまで、お問い合わせください。



東長寺寺報 萬亀

2024年3月号(第145号)

発行所: 曹洞宗 萬亀山 東長寺

発行日: 2024年3月1日

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34

(代表) TEL.03-3341-9746 FAX.03-3341-2150

(縁の会) TEL.03-3353-6874

(文由閣・結の会) TEL.03-5315-4015



www.tochoji.jp

このパンフレットは
FSC®森林認証紙
を使用しています。

FSC®認証は責任
ある森林管理を認
証する制度です。

